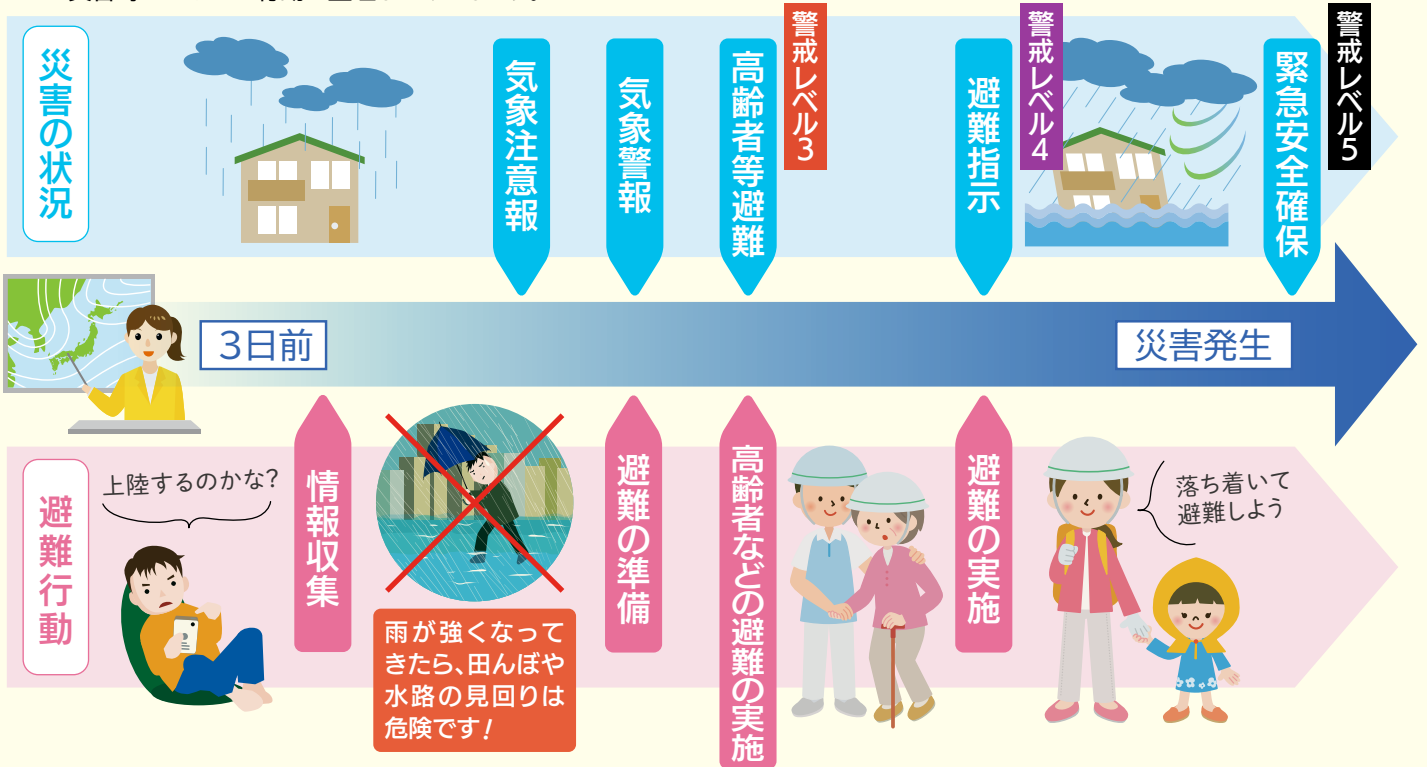


もしものとき、どう行動しますか？

問危機管理室 ☎086-803-1082

毎年6月は「土砂災害防止月間」。この機会に、急激な豪雨や長引く大雨、台風の接近などを想定し、避難のタイミングや災害時にとるべき行動を整理してみましょう。



「避難」って何をすればいい？

小中学校や公民館などといった指定の避難場所に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは、「難」を「避」けることと考え、避難する時にどう行動するかをあらかじめ考えておきましょう。

避難場所への移動

避難情報が出された地域にある小・中学校、公民館（分館を除く）を原則、同時に開設します。ただし、災害の種別によっては、開設しない施設があります。



屋内での安全確保(垂直避難)

あらかじめハザードマップで安全を確認した上で、自宅の2階以上の部屋に避難しましょう。



安全な親戚や知人宅への避難

あらかじめハザードマップで安全を確認した上で、災害時に避難することを相談しておきましょう。

福祉避難所

高齢者福祉施設や障害者支援施設などの中に受け入れ体制が整い次第開設します。

対象…一般の指定避難所で長期の避難生活が続けることが困難な高齢者や障害者などの要配慮者

詳しくは、HPをご確認ください。



自宅周辺の災害リスクや避難場所をハザードマップで確認！



ハザードマップには、想定される災害の種類ごとに浸水範囲や浸水高（深さ）、避難場所などの必要な情報が記載されています。WEB版ハザードマップでは、現在いる位置の危険度や避難場所へのルートが調べられます。

岡山市WEB版ハザードマップの見方（洪水・土砂災害の場合）



問危機管理室 ☎086-803-1082

岡山市WEB版ハザードマップ



災害情報の入手方法は？

テレビ

市から発信する「避難情報」や「避難所の情報」などを見られます。

【利用方法】

NHK総合にチャンネルを合わせ、デジタルテレビのリモコン「dボタン」を押してください。



緊急速報メール（エリアメール）

対応する携帯電話やスマートフォンへ、特定エリアごとに直接緊急地震速報や災害・避難情報などを一斉配信します。

ラジオ

停電時やインターネットが繋がりにくい場合、最も情報を得やすいのがラジオです。



岡山市緊急告知ラジオ販売中！

市内全域に関係する緊急情報を放送するラジオを販売しています。（FM79.0MHzのレディオモモを受信できる環境が必要です）

問申危機管理室 ☎086-803-1082

※各区総務・地域振興課でも申し込み・受け取りが可能



岡山市メール配信サービス（岡山市防災メール）

避難情報・気象情報などを配信しています。日本語のほか12カ国語に対応しています。

【登録方法】

- ①右のQRコードから空メール送信
- ②返信された登録用メールの案内に従い配信希望の項目を返信



SNS

市公式 LINE



市公式 X



SNSのデマ情報に注意しましょう

災害時のSNSではさまざまな情報が飛び交い、真偽の分からない、いわゆるデマ情報が含まれていることがあります。デマ情報を拡散させないためにも、信頼できる発信元からの正確な情報なのかを確かめて、冷静に対処してください。



自分をまもる「もしもの備え」はどうすればいい？

災害はいつ起こるか分かりません。けれども未然に被害を防いだり、軽減したりすることは可能です。災害への備えをいま一度確認しておきましょう。

家族との話し合い

自宅やその周辺、通勤・通学時の災害リスクをハザードマップなどで確認。災害の恐れが高まった際にどう避難するか、事前に話し合っておきましょう。



家の中の安全確認

家具の固定、出入り口や通路には物を置かないなど、日頃から家の中の安全対策を進めましょう。



家庭内備蓄

災害発生から3日（できれば1週間）分を用意。家族構成に合ったものを準備し、一人一人が災害への備えを万全にしましょう。



非常持ち出し品

両手の自由が利くリュックサックや燃えにくい袋などに入れて、すぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。



防災マニュアルをチェック！

家庭内備蓄や非常持ち出し品は一人一人必要な物が異なります。詳しくは「岡山市防災マニュアル」をご確認ください。

防災マニュアルはこちら





新しい「防災気象情報」がスタートしました！

5月29日から、警報や注意報などの防災気象情報が数字と色を軸にしたよりシンプルなものに変わります。

何が変わったの？



警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます



河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります（特別警報の新設など）



「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます



線状降水帯の発生などは「気象防災速報」として発表されます

警戒レベル	市町村	気象台					とるべき行動
	避難情報等	河川氾濫 1級河川などの 大きな河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地の がけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水		
5	緊急安全確保	5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに危険な場所からかならず避難！>							
4	避難指示	4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から 全員避難
3	高齢者等避難	3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人 は避難を開始
2	(気象台が発表する情報→)		レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難 場所や避難ルート、避 難のタイミングなど)
1	(気象台が発表する情報→)		早期注意情報				災害への心構えを 高める

いつ避難すればいいの？

発令された避難情報ごとに「誰が」「いつ」「どこへ」避難すべきか、今のうちに確認しておきましょう。

警戒レベル3 高齢者等避難

高齢者や障害のある人などの避難に時間がかかる人で、危険な場所にいる人は避難を始めてください。市が発令する「高齢者等避難」などの情報を確認してください。その他の人は、いつでも避難できるよう準備をしておきましょう。



警戒レベル4 避難指示

危険な場所にいる人は全員避難しましょう。市が発令する「避難指示」などの情報を確認してください。警戒レベル4までの段階で、危険な場所から必ず避難するようにしましょう。



警戒レベル5 緊急安全確保

すでに災害が発生しているか、切迫している極めて危険な状態です。外への避難はかえって危険な場合があります。その場で命を守るための最善の行動をとってください。



コラム

もし、家屋が浸水したら・・・

問 保健管理課 ☎086-803-1276

局所的な集中豪雨などで家屋が浸水した場合、細菌やカビが繁殖しやすくなり、健康被害の原因となります。浸水後の汚れは水道水でしっかり洗浄し、十分に乾燥させましょう。

なお、厚生労働省は、床下や庭など屋外の消毒は原則不要としており、浸水被害による健康被害を過度に心配する必要はありません。詳細はHPをご確認ください。

